

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概 要	名 称	公益財団法人宮崎県生活衛生営業指導センター		所在地	宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2階	
	電話番号	0985-25-1466		ホームページ	https://www.seiei.or.jp/miyazaki/index.html	
	設立年月日	昭和55年11月20日	代表者	理事長 岡崎 富明	県所管部・課	福祉保健部衛生管理課
	総出資額	7,800千円		県出資額	2,000千円	県出資比率 25.6%
	設立目的	宮崎県における生活衛生関係営業（生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律第2条第1項各号に掲げる営業を言う。）の経営の健全化、振興等を通じてその衛生水準の維持向上を図り、あわせて利用者又は消費者の利益の擁護を図ることを目的とする。				
特記事項	「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、県内唯一の生活衛生営業指導センターとして県からの指定を受けている。					

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①公社等のあり方見直し				
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	(計画) 第6次アクションプランに基づき、事業効果の増大と諸課題の克服を図る。 (実績) 第6次アクションプランの初年度であり、これまでの検証・課題を踏まえ、それぞれの事業で改善が図られた。一方、コロナ感染症のため集客型の会議等が影響を受けたものもあったが、相談事業等大幅に要望があり、大幅に実績を上げた。	(計画) 第6次アクションプランに基づき、事業効果の増大と諸課題の克服を図る。 (実績) 第6次計画の最終年度であり、これまでの検証・課題を踏まえそれぞれの事業で改善が図られた。年度前半にコロナウイルス感染症の影響のため集客や巡回が必要な事業に影響を受けたが、年間通して相談事業では目標、昨年度実績を大幅に超え、自主管理促進事業でも実績が昨年度比増となった。	(計画) 第7次アクションプランに基づき、事業効果の増大と諸課題の克服を図る。
	財務改善	(計画) 事業効果を考慮し、管理費の削減に努め、協賛会員等による自主財源の確保を図る。 (実績) 新たな新規補助事業の受託や引き続き新規委託事業への取組及び経費削減に取り組んだ結果、大幅に目標の管理比率を下回った。	(計画) 事業効果を考慮し、管理費の削減に努め、協賛会員の勧誘等による自主財源の確保を図る。 (実績) 新たな委託事業の受託、新規賛助会員の増を図るとともに、経費削減に努めた結果、達成度がおおよそ目標に近い90%台となった。	(計画) 事業効果を考慮し、管理費の削減に努め、協賛会員の勧誘、寄付等による自主財源の確保を図る。
	組織等適正化	(計画) 事業効果を高めるため、生衛組合支部役員等による組織の連携を図り、支部機能を充実・強化する。 (実績) 関係機関との連携するため、一昨年度はコロナ感染症のため開催できなかった支部長交流会、件数が大幅増加した巡回指導及び組合活性化塾等により支部組織との連携を図った。	(計画) 事業効果を高めるため、生衛組合支部役員等による組織の連携を図り、支部機能を充実・強化する。 (実績) 事業運営に当たり関係機関と、件数が大幅に増加した巡回指導、組合活性化塾等により支部組織との連携を図った。一方、コロナの影響を受けて各地区で行う支部長交流会の開催が少なくなった。	(計画) 事業効果を高めるため、生衛組合支部役員等による組織の連携を図り、支部機能を充実・強化する。
③県と見直し等の関係	人的支援見直し			
	財政支出見直し	事業効果の評価に基づく補助内容の見直し	(計画) 新年度の助成金等内容・積算の見直しを行う。 (実績) 補助金、委託料等の県からの支出金については、目的等を考慮し、見直しを検討したが、生衛事業者に必要なコロナ対策の支援事業を追加受託した。	(計画) 新年度の助成金等内容・積算の見直しを行う。 (実績) 県から補助金、委託料等の支出金については、目的等を考慮し、見直しを検討したが、生衛事業者に必要な燃油高騰対策の支援事業を追加受託した。
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(計画) 引き続きホームページでの情報公開の推進に努める。 (実績) 情報誌、講習会及び研修会等の情報をホームページに掲載するとともに、融資利率などの最新情報の提供・周知に努めた結果、アクセス件数が着実に伸びた。	(計画) 引き続きホームページでの情報公開の推進に努める。 (実績) 情報誌、講習会及び研修会等の情報をホームページに掲載するとともに、最新の経営状況、景気動向調査結果の閲覧先、融資利率などの最新情報の提供・周知に努めた結果、アクセス1万件以上となった。	(計画) 引き続きホームページでの情報公開の推進に努める。

人的支援	(人)	令和4年度				令和5年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
役員数		16	0	1	15	16	0	1	15
常勤		1	0	1	0	1	0	1	0
非常勤		15	0	0	15	15	0	0	15
職員数		4	0	2	2	4	0	2	2
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	2,378	2,282	3,354	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	29,948	151,212	30,458	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									

主な 県 財政 支出 の 内容	事業名	事業内容	令和4年度 決算額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	種別	
	①	生活衛生営業指導事業	生活衛生関係営業の経営等に関する各種の相談・指導を行う生活衛生営業指導センターの運営に係る経費助成。	29,354	30,332	補助金
	②	自主衛生管理促進事業	生活衛生営業指導員の巡回指導により営業者の自主衛生管理の促進を図る。	2,641	2,947	委託料
	③	生活衛生関係営業適正化促進事業	技術向上・後継者育成等の生活衛生同業組合への活動支援、クリーニング相談専門員設置による苦情相談の実施。	1,104	1,119	補助金
	④	燃油高騰対策支援事業	燃油高騰対策支援事業に係る生活衛生営業業者（一般公衆浴場及びクリーニング所）への周知・補助金申請書等の取りまとめにより円滑な支援を図る。	713	0	委託料
⑤						

実施 事業	<p>① 生活衛生営業指導事業（国・県の補助事業。生活衛生同業組合及び営業者に対する経営指導・相談等を実施）</p> <p>② 生活衛生関係営業適正化促進事業（県の補助事業。技術向上・後継者育成事業への助成等生活衛生同業組合への活動支援。クリーニング相談専門員設置による苦情相談の実施）</p> <p>③ 自主衛生管理促進事業（県委託業務。生活衛生営業指導員の巡回指導により営業者の自主衛生管理の促進）</p> <p>④ 標準営業約款関係事業（（公財）全国生活衛生営業指導センター委託事業。審査及び交付事務を実施）</p> <p>⑤ クリーニング師研修等事業（（公財）全国生活衛生営業指導センター委託事業。クリーニング師等に対する研修会及び講習会を実施）</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動 指標	指標名	算式（単位）	令和4年度			令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	経営指導員巡回指導数	地区別（保健所単位）の巡回指導における相談件数（件）	300	1,450	483.3%	350	350
②	生活衛生営業指導員の巡回指導数	営業施設に対する生活衛生営業指導員の巡回指導数（件）	1,875	1,691	90.2%	1,875	1,875
③							

指標の設定に関する留意事項 令和4年度はコロナ禍による融資相談等が急増したため、経営指導員巡回指導数は大幅増となった。令和5年度以降は物価高騰、税制改正対策等の相談件数増が見込まれるため目標値を50件増とする。

財務 状況	正味財産増減計算書（千円）			貸借対照表（千円）				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	経常収益	38,607	160,901	37,956	資産	11,908	14,871	11,568
	経常費用	38,912	160,485	38,595	流動資産	3,638	6,601	3,298
	当期経常増減額	-305	416	-639	固定資産	8,271	8,271	8,271
	経常外収益	0	0	0	負債	1,569	4,116	1,952
	経常外費用	0	0	500	流動負債	1,569	4,116	1,952
	当期経常外増減額	0	0	-500	固定負債	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	-305	416	-1,139	正味財産	10,340	10,755	9,616
	一般正味財産期首残高	2,845	2,540	2,955	指定正味財産	7,800	7,800	7,800
	一般正味財産期末残高	2,540	2,955	1,816	（うち基本財産への充当額）	7,800	7,800	7,800
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	（うち特定資産への充当額）	0	0	0
	指定正味財産期首残高	7,800	7,800	7,800	一般正味財産	2,540	2,955	1,816
	指定正味財産期末残高	7,800	7,800	7,800	（うち基本財産への充当額）	0	0	0
	正味財産期末残高	10,340	10,755	9,616	（うち特定資産への充当額）	0	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式（単位）	令和4年度			令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
①	県補助金比率	（委託料＋補助金＋交付金等）／経常費用計×100(%)	88.0	87.6	100.5%	88.0	88.0
	※ 令和4年度 実績値の算式	(3,354千円＋30,458千円)／38,595千円×100					
②	管理費比率	管理費／経常費用計×100(%)	8.1	8.1	100.0%	8.1	8.1
	※ 令和4年度 実績値の算式	3,131千円／38,595千円×100					
③							
	※ 令和4年度 実績値の算式						

指標の設定に関する留意事項

直近の県監査の状況	令和4年度財政援助団体等監査（令和4年10月17日）を受け、指摘なしであった。ただし、口頭指導で「令和3年度に立替金を収益として計上している」という助言に従い、令和5年度理事会、評議委員会で報告、了承を得た上で、令和4年度決算において修正を行った。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合評価	公社等 自己評価	<p>燃油高騰対策支援事業では、事業者への周知や申請書の取りまとめを行うことにより、燃油高騰により厳しい経営状況におかれている事業者への円滑な支援につなげることができた。</p> <p>活動指標としている経営指導員による巡回指導数は、コロナ禍、燃油高騰及び税制改正による経営相談が急増し、目標値を大きく上回った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活衛生営業指導員による巡回指導数は目標値を下回ったものの前年度より増加した。</p> <p>財務面に関しては、県補助金比率及び管理費比率ともに目標を達成した。</p> <p>今後も効率化を図り補助金への依存度を減らし自立性を高める努力が必要である。</p>				県所管部課 二次評価	<p>中期事業目標「指導センター事業推進アクションプラン」により、積極的に事業改善を図っている。</p> <p>燃油高騰対策支援事業では、指導センターが事業者への周知、申請書等の取りまとめを行うことにより、事業者を支援することができた。</p> <p>昨年度に引き続き、活動指標は経営指導員巡回指導数が目標値を大きく上回り、コロナ禍で苦しむ事業者の経営相談など重要な役割を果たした。</p> <p>また、生活衛生営業指導員の巡回指導の達成度は目標を下回ったものの前年度の64.0%から90.2%に改善している。</p> <p>財務面に関しては、県補助金比率及び管理費比率ともに目標を達成している。引き続き自主財源確保への取組に努め、健全な経営を図る必要がある。</p>																
	評価 (A. 良好、B ほぼ良好、C やや課題あり、D 課題多い)	改革工程 A	活動内容 B	財務内容 A	組織運営 A	評価 (A. 良好、B ほぼ良好、C やや課題あり、D 課題多い)	改革工程 A	活動内容 B	財務内容 A	組織運営 A													
	目標 達成度	<table border="1"> <caption>目標達成度 (目標達成率)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	500	活動指標②	100	活動指標③	0	財務指標①	100	財務指標②	100	財務指標③	0	公社等改革 推進委員会 三次評価	<p>活動内容については、指標の「経営指導員巡回指導数」について、目標値を大きく上回る数値となっており、コロナ禍において、求められる役割を十分に果たしたことが評価できる。</p> <p>財務内容については、指標はいずれも目標値を上回っているものの、正味財産は減少しており、今後は一層の自主財源確保の取組が必要である。</p> <p>ポストコロナにおいても、経営環境が依然として厳しい事業者に対して、ニーズに的確に対応した活動が求められる。</p>		
指標	達成率 (%)																						
活動指標①	500																						
活動指標②	100																						
活動指標③	0																						
財務指標①	100																						
財務指標②	100																						
財務指標③	0																						